

平成27年度 途上国持続可能な森林経営推進事業一般公開セミナー
林産物を活用したビジネスの可能性を探る—持続的森林資源管理へ向けて—



平成28年3月11日(金) (公財)国際緑化推進センター

事業の背景と目的



- 地域住民の生計活動が森林減少の原因になっている事例が少なくない
- 持続的森林経営のためには森林に新たな経済価値を付加することが重要

そのためには

- ◎ 低・未利用森林資源を発掘し、ビジネス化の可能性を検討
- ◎ 企業等による森林資源を活用した新たなビジネスの展開による富の創出
- ◎ 地域住民の参画を通じた富の配分と生計の向上

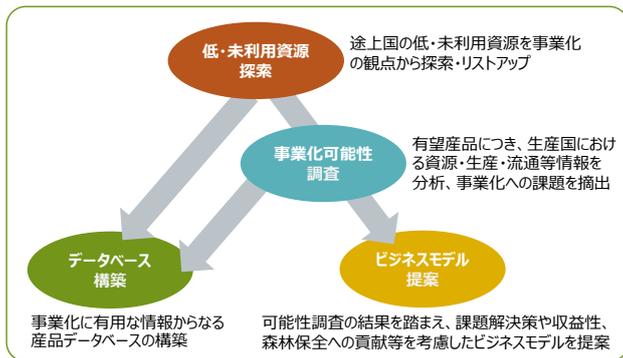


本事業では、途上国の低・未利用森林資源による事業化を促進するため、民間企業に向けデータベースを構築やビジネスモデルの提案を行う

事業の進め方



- 本事業は大きく4つの実施項目から構成される



データベース構築



- データベースの特徴
 - ◎ 「事業化」の視点を重視
 - ◎ 製品の概要、特徴、輸出入動向と日本の需要、マーケットの展望等の情報を収集・収納
- データベースの対象産品例

未利用資源 (産品) カテゴリ	H27年度対象産品 (14品)	H28年度対象産品
医薬・化粧品	精油、香料、漢方薬、伝統薬	タナカ
建築・家具材・工芸品		アフリカンブラックウッド、泥炭地木質バイオマス
食品・食品添加物	香辛料、増粘安定剤、香料	カカオ豆、サゴヤシでん粉、タマリンドシードガム、ジェルトン由来ラテックス、サトウヤシの胚乳
農業資材	飼料、肥料、園芸資材	ココピート、カラガナ飼料
工業原料	繊維、製紙、インク	カボック繊維
燃料	バイオマスエネルギー、炭	白炭マイチュー、ユーカリ等早生樹

5年間の事業期間で60産品前後をデータベース化する予定

データベースのイメージ



- 途上国森林ビジネスデータベース(BFPRO(Business of Forest PROducts))

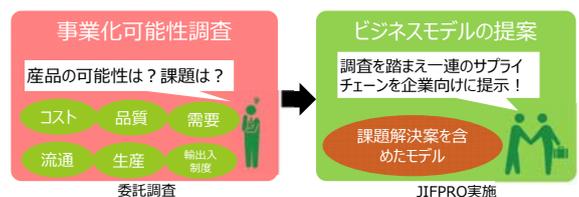


本日公開
(<http://jifpro.or.jp/bfpro/>)

事業化可能性調査とビジネスモデルの提案



- 事業化可能性調査
 - ◎ 当センターで有望な候補産品をリストアップし、該当産品を取り扱う可能性のある企業や森林関連コンサルタントとの委託契約により可能性と課題を調査
- ビジネスモデル提案
 - ◎ 「事業化可能性調査」で抽出した課題の解決策・収益性等を考慮しつつ、川上での生産から川下での加工・流通・消費までをカバーしたビジネスモデルを提案
 - 森林の保全・修復ならびにコミュニティ開発と調和的であり、同時に実行企業によるCSV/CSR活動としても魅力的であることが重要な視点



ビジネスモデルの提案



平成27年度の対象産品

産品名	調査対象国	調査実施者
① アフリカン・ブラックウッド	タンザニア	ヤマハ株式会社
② マイテュー白炭	ラオス	恵山通商株式会社
③ ヤシ殻 (ココヤシ)	フィリピン	東京テック株式会社
④ 泥炭地木質バイオマス	インドネシア	住友林業株式会社
⑤ カカオ豆	フィリピン	(一社) 海外林業コンサルタンツ協会
⑥ カラガナ飼料	モンゴル	(一社) 海外林業コンサルタンツ協会

本日は、今年度考案中した6産品の中から、①アフリカンブラックウッド、②マイテュー白炭、③ヤシ殻のビジネスモデルを紹介

● 本格的な事業化に向けて

- ビジネスモデルを活用した事業実施には、追加的情報収集、技術開発、実証試験等のステップが必要であり、公的資金スキームの活用等による推進が期待される

